



# ママが絵本を読んでいる間にママをメイク★

英語の絵本を読もうと思ったら、娘がアイブロウパウダーを使ってリケジヨママの顔をメイクしようとしたので、準備をした後...

**親： I am ready. So you can start to make (up) my face again.  
(準備できたから、ママの顔をまたメイクし始めていいよ)**

**子： OK.  
(おっけー)**

**親： So I'll read "Clever Rabbit and the lion".  
(じゃあママは「賢いうさぎとライオン」を読むね)**

**子： OK.  
(いいよ)**

～リケジヨママが絵本を読み始める～ (長いので途中省略)

**親： The end.  
(おしまい)  
Did you finish making (up) my eyebrows?  
(ママの眉毛の化粧は終わった?)**

**子： Not yet.  
(まだだよー)**

**親： "The Three Little Pigs"  
(「三匹の子ブタ」)**

～化粧が終わらないから、違う絵本を読み始める～



**親：Once upon a time...**  
(昔々...)

**子：When you finish this book, I'll finish.**  
(ママが絵本を読み終わる時に、私も終わるよ)

**親：OK.**  
(分かったよ)

～再び絵本を読み始める～

**親："Little pigs, little pigs, let me come in."**  
(「子ブタさん、子ブタさん、中に入れておくれ」)

↑普通に読んだ後、狼のような低い声に変えるのを忘れていたことに気づいて、低い声で読み直し

**子：You can a little bit mistake, but it's OK. I think.**  
(ママちょっと間違えたけど、大丈夫だよ、と思うよ)

**親：OK. I copy the wolf's voice .**  
(わかったよ (苦笑) ママは狼の声を真似してるんだよ)

**子：OK.**  
(おっけー)

～さらに声を低くして絵本を読む～

**親：So... "little pigs, little pigs, let me come in. "**  
(だから... 「子ブタさん、子ブタさん、中に入れておくれ」)



(笑)

親： Maybe his voice must be ...hmm...low?  
(たぶん彼の声は...うーん...低い？に違いない)

↑声が低かってなんて言うんだったっけ？と間の時に必死に思い出す

子： Low?  
(低い？)

親： It might be low voice.  
(低い声かもしれないね)

～再び絵本を読み始める～

親： "But the first little pig said..."  
(「でも一番目の子ブタは言った...」)

子： OK.  
(いいよ)

親： Should I close my eyes?  
(まだ目を閉じてた方がいい？)

子： OK. Can you close your eyes?  
(うん、目を閉じてくれる？)

親： Wait for a moment?  
(もう少し待つ？)  
Can I open my eyes?  
(もう目を開けていい？)



子：Open your eyes. It's OK.  
(目を開けて。いいよ！)

親：I'm tired to (from) reading the story.  
(ママは絵本を読んで疲れたよ)

※後から確認したら、「～して疲れた」は「I'm tired from ～」でした

親：Because I already read a lot of stories.  
(すでにたくさんの絵本を読んだからね)  
...Did you finish?  
(終わった？)

子：Yes. Look on your mirror.  
(うん。鏡を見てみて)

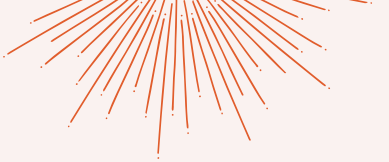
親：Oh～hmm? Can I see it?  
(お～ん？ちょっと見ていい？)

↑鏡がよく見えなかったから、貸してもらって自分で見てみると...  
アイブロウどころかアイシャドウ並みに目と眉毛の間が真っ黒に！！

親：Oh～！！ My eyebrows got so fat!  
(わー！！ママの眉毛めちゃくちゃ太いじゃん！)

※太いがすぐ思い浮かばなかったのでfatを使いましたが、  
実際はthick (thicker：より太い)の方がよかったです

子：And other eyebrow?  
(それと他の眉毛も？)



親：Yeah.  
(そうだねー)

(笑)

子：That was a mistake.  
(それは間違えたの)

親：You made a mistake?  
(間違えたの?)

子：Yes, that one.  
(うん、それね)

親：But my eyebrows ...around my eyes are so gray  
(でも私の眉毛は...目の周りはずごいグレーなんだけど)

子：Look. I made a mistake.  
(見て。私は間違えたの)

親：You used a lot of powder ...a lot of eyebrow powder.  
(たくさんパウダー使ったね...たくさん眉毛のパウダー使ったね)

子：Sorry, but you can still use it.  
(ごめんね、でもまだ使えるよ)

親：Hmm....  
(まあそうだけど...)



**親：So let's it's time to take a bus.**  
**(さあ、お風呂に入る時間だよー)**

※Let's take a busと言いかけてからIt's time to～に  
言い直したので混ざってます

**子：Ah～! ? I want to read the book.**  
**(えー! ? 私は絵本が読みたいんだけど～)**

**親：So will you this book? another book?**  
**(ならこの絵本を読む? 他の絵本?)**

**子：Yes, please.**  
**(うん、お願い)**  
**Listen.OK?**  
**(聞いてて。いい?)**  
**And look at here and listen, too, please.**  
**(それでここを見て、そして聞いてね)**

**親：Why? Why should I look at the mirror?**  
**(なんで? なんで鏡を見なきゃいけないの?)**

**子：Because I think you are pretty,**  
**(だってママが可愛いと思うから)**  
**so can you look at and see?**  
**(だから見てみてる?)**  
**I think you are pretty best, OK?**  
**(とっても可愛いと思うから。いい?)**

**親：OK.**  
**(わかったよ)**



子：When it's pretty, say to me "My eyebrows is pretty". OK?  
(可愛かったら、「私の眉毛は可愛い」って言ってね、いい?)

親：My eyebrows are pretty?  
(私の眉毛は可愛い)

子：Yes.  
(うん)

親：Hmm. Read it.  
(はいはい、じゃ読んで)

子：OK.  
(おっけー)

親：Let's read it.  
(さ、それ読んで)

子：Look at this...  
(これを見て...)

子：You're pretty?  
(可愛いでしょ?)

親：Hmm...maybe?  
(ん～たぶん?)

↑自分のこと可愛いとか言わせないでよ～と思いつつ、  
でも娘が望んでる答えはイエスかなと迷いつつ (笑)



親：But it's (a) little strange.  
(でもちょっとおかしいかな)  
My eyebrows are (a) little strange.  
(ママの眉毛は少し奇妙だよ)

子：Why?  
(なんで?)

親：Because it's not ordinary.  
(だって普通じゃないから)  
It's not my eyebrows. It's so silly eyebrows.  
(私の眉毛じゃないよ。すっごくバカげた眉毛だよ)

子：Ha-ha!  
(ハハッ)

親：Oh my god! I can't go outside.  
(ヤバいじゃん！ママ外に出られないよ)  
Because I'm ashamed if I go outside with these eyebrows.  
(この眉毛で外に出たら恥ずかしいからさー)  
Because these are so silly eyebrows.  
(だってこれすごいバカっぽい眉毛だもん)

子、爆笑。気を取り直して...

親：Are you ready?  
(準備はいい?)

子：Ready.  
(できてるよー)





**親： Let's read the story, please.**  
**(さ、絵本読もう、よろしく)**

娘が私の眉毛を見て爆笑しながら...

**子： I'm just looking.**  
**(私は見てるだけだよー)**

**親： Read. Let's Read.**  
**(読んで。さ、読もう)**

娘、まだまだ爆笑が止まらない...

**親： Why are you laughing?**  
**(何で笑ってるの?)**

仕方ないから絵本を読み始めてリードすることに...

**親： "The forest..."**  
**(森が...)**

娘、笑いのツボにはまったようでまだ止まらない...

**親： So let's read it. Story, please.**  
**(はいはい、読んで。絵本お願いしまーす)**

娘、まだまだ笑い続ける...

**親： Why are you laughing?**  
**(何で笑ってるの?)**



子 : Because you said... read the story, please.  
(だってママが「絵本読んでください」って言ったから)  
You said...  
(ママが言ってた...)

親 : Is it silly?  
(それがおかしいの?)

子 : Yes.  
(うん)

親 : Why?  
(なんで?)

子 : Hmm...  
(うーん...)

親 : From the first page, please.  
(ほら、最初のページから。お願いしまーす)

子 : (笑)

親 : "If I...If I...what"?  
(「もし私が...」もし私が...何?)  
What's the title of this story?  
(この絵本のタイトルは何だっけ?)

If I...ともう一度言いかけたところで私が違う絵本だったことに気づき、

親 : Ah~, "Let's take care of the earth"  
(あ、「Let's take care of the earth」だった)



子： Hmm?  
(ん?)

親： "Let's take...? care of the earth?"  
(「Let's take...」 なんだった？ care of the earth?)

子： Yeah yeah yeah yeah～.  
(やーやーやーやー)

娘がいよいよふざけ始める...

親： Read normally, please.  
(普通に読んでくださーい)

子： Yo-yo-yo Yo-yo, Yo-...  
(ヨーヨーヨヨーヨー、ヨー...)

↑これはもう言っても無駄だと思って、諦めて一人で読み始める

親： The swamp...The mountain, the mountain is home to a goat.  
(沼... (←間違えた) 山、山はヤギの故郷です)

この後この絵本の最後まで私が読んで、終わりました。

- The End -